

令和 6 年度タウンミーティング議事録

日 時：令和 6 年 11 月 5 日(火) 19 時～20 時 30 分

会 場：池新田地区センター

参加者数：52 人

	分野	ご意見・ご要望等	市長・幹部職員からの回答
1	財政	市の財政の見通しについて	歳入増加策を実施しつつ、少しでも無駄な経費をなくすため精査している。
2	防災	災害時の一次避難所の運営について、物資の調達は市で行ってくれるのか。また今後の運用についての展望は。	物資の調達は各地区の自主防災組織への補助金を活用して準備してもらう。一次避難所の今後の運用としては、災害の規模に応じて二次避難所を開設していくため、長期間の滞在とならないように運用していくが、場合によっては一次、二次両所を併用して効率的に運用していく。
3	公聴	タウンミーティングの開催形式について、夜間や遠い場所には来れないという人がある。開催形式を検討してもらいたい。	今年は従前の慣例にとらわれず新たな形式で開催した。今回の結果をもとに今後の開催形式を再検討していく。
4	防災	地区の防災訓練についてメリハリがなく、内容もマンネリ化している。コロナ以降の規模縮小も気になる。	地区の訓練は、各地区の自主防災組織が運営している。市として自主防災組織へ必要に応じて助言していく。
5	市の組織	窓口対応について、若い人が何度も上司へ確認しに行く姿が見られる。ならば最初から上司が出てくるべきでは。	来庁者を待たせないよう、より効率的な対応を心掛ける。
6	公共交通	公共交通とデジタル化の結びつきとはどういうものになるか。動線を教えてほしい。	公共交通を使いたい人が自らアプリで予約し、他の人の予約情報と組み合わせたものを AI が分析、最適なルートで走るバス（タクシー）の運用を研究しているところである。

7	防災	150 号線より南側に防災拠点を作るという話をうわさで聞いたが、津波が気になる。もっと北へ作べきでは。	池新田地区からそういった要望をもらっているが、現段階で回答できるものがない。こういったものにすれば多くの命が助かるのか、という観点でこの先考えていく。
8	地区	地区センターについて、決算書や事業計画書を回覧するなど地区住民へもっと公開していくべきでは。	意見としていただいておく。

令和 6 年度タウンミーティング議事録

日 時：令和 6 年 11 月 6 日(水) 19 時～20 時 30 分

会 場：御前崎地区センター

参加者数：52 人

	分野	ご意見・ご要望等	市長・幹部職員からの回答
1	企業誘致・観光	企業誘致が進んでいない。観光に以前のような勢いが無い。グランドホテル周辺の荒廃が気になる。	当該施設周辺は観光のキーとなる場所である。そこに価値を見出せる人がいると信じ、これからも誘致活動していく。
2	道路	県道にセンターラインがなく狭い。通学路としても使用されているが、危険でありいかなものか。	道路の拡幅は地権者の協力が必要なため、実現が難しい場合がある。別ルートへ車を誘導するなどの工夫をしていきたい。
3	道路	県道で冠水する場所（新神子）があるため、排水路の改善を求む。	県道であるため、県が事業を実施している。近年進捗が停滞気味であったが、今後進んでいく予定とのことである。
4	土地・道路	道路へはみ出た樹木等への対応。土地所有者不明の場合はどうしたらよいか。	道路管理者として、交通に支障がある場合、市で伐採しているものもあるが、基本的には地主が対応するもの。所有者不明の場合、建設課において相談は受け付けている。
5	農業	茶業について取引額の低さや後継者不足などで大変厳しい状況である。	農業は本市の基幹産業である。今後も農家の皆さんと連携し、より良い状況になるよう一緒に考えていきたい。
6	教育	スクラムカレンダーを実施している学校としていない学校の違いは何か。	現在実施しているのは白羽小と第一小。他の学校は協力者がいないため、継続が難しくなり実施されていない経緯がある。
7	教育	英語教育について市長はどう考えているか。	本市は観光と貿易のポテンシャルがある。今はインターネットを通じてオンラインで海外の人と話せるので、積極的に英語でコミュニケーションをとりながら学ぶことが良いと考える。

令和6年度タウンミーティング議事録

日 時：令和6年11月7日(木) 19時～20時30分

会 場：佐倉地区センター

参加者数：27人

	分野	ご意見・ご要望等	市長・幹部職員からの回答
1	政策	市長の言う「とがった御前崎市」とは具体的にどういったものを指しているのか。	本市の強みである「エネルギー産業、港湾、観光」を生かし、さらに特化させていくことを指している。
2	財政	財政難ではあるが、市民負担が増えないように赤字を解消できないか。	市民負担をかけないためには効率化を進めるほかない。サービスの低下を避けつつ、徐々に見直し改善していく。
3	施設	赤字対策として、ぶるるの高齢者への入場料優遇が多すぎる監視員を削減したらどうか。	入場料の値上げは現在検討中である。監視員については利用者の命にかかわるものであるため、慎重に取り扱いたい。
4	財政	病院の赤字改善はどのようなことに取り組んでいるのか。	今年度は内科医の増員、機器更新の見送り等がある。さらなる経営改革を進めていくため、経営戦略室を設置した。
5	エネルギー	原発の審査が通ったとしても、必ず稼働できるとは限らない。少し待てばお金が入ってくる、という考えは捨てて、不必要なものはいまのうちにやめるべき。	予算を無駄遣いするつもりはまったくない。以前のようにハード面にお金をかけるのではなく、ソフト面に使っていき、持続可能なまちをつくり上げていく。
6	環境	新火葬場の用地買収についてはどこが担当するのか。	新火葬場整備の覚書により、用地買収は牧之原市が行うことになっており、牧之原市で進めている。

令和 6 年度タウンミーティング議事録

事前にいただいた意見・提案

	分野	ご意見・ご要望等	市長・幹部職員からの回答
1	港湾	御前崎港についての提案 ①御前崎港の拡張、大型船舶の入港対応型の港へ。 ②停泊・接岸料金を他より安くしてみてもどうか。 ③物流企業や貨物フェリーの誘致。	前提として御前崎港は静岡県が管理している。 ①すでに大型船舶の受け入れが可能であり、昨年 4 月に 2 隻の外国クルーズ客船を受け入れている。 ②県内は同一金額にて取扱いしている。また積荷への割引制度がある。 ③今後も企業の誘致、貨物量の増加に伴い、新規航路を開設するためのポートセールスへ積極的に取り組んでいく。
2	防災	個別受信機を個人宅に設置することは今後できないのか。	法改正により現在は不可能となった。様々な媒体（メール、LINE などの SNS、防災アプリ ほか）を用いた広報で対応している。
3	町内会	運営や役員選出の観点から町内会の合併や、合併しないまでも行事や役員を兼ねるなどできないか。	町内会は任意団体のため、行政側から強制はできない。町内会同士が自主的に模索し、そこを支援する形としたい。
4	公共施設	維持費用や市立御前崎総合病院など赤字建物について知りたい。	各施設の維持費等は市ホームページ掲載の「公共施設白書」で確認できる。総合病院については、少しでも赤字を減らせるよう計画を立て取り組んでいるところである。
5	公聴	タウンミーティングの開催形式について	今年は従前の慣例にとらわれず新たな形式で開催した。今回の結果をもとに今後の開催形式を再検討していく
6	町内会	町内会の認可地縁団体化とそれに関わる税金について	認可地縁団体化についてのメリット・デメリットを説明することはできる。税については一部が免除されることがある。

7	防災	原子力災害発生時の対応について知りたい。	発電所における単独の災害か、自然災害等含めた複合災害かで避難先が異なる。(単独災害 → 浜松市、複合災害 → 長野県) 広域避難に伴い健康リスクが生じる要配慮者向けに市内 16 箇所に防護シェルターがある。また、御前崎市原子力防災広域避難計画を随時更新し、最新の状態にしている。
8	港湾	灯台・港周辺の整備について淡路島西海岸のように整備できないか。	本市も同様のポテンシャルがあると思う。観光協会、商工会、市民が一体となりアイデアを出し合って考えていきたい。
9	教育	「自立と共生」を学ぶイエナプラン教育を取り入れることで、市の教育水準が上がるのではないか。	画期的な教育スタイルであるが、本市で導入することは難しい。充実した学びとなるよう授業改善を進めていく。
10	財政	財政難であるというのならば、市の予算を無駄遣いしないようにしていただきたい。	電気使用量や事務用品の削減、コピー紙の裏面利用などに取組み、無駄を生じさせないように意識している。
11	その他	「平和宣言」と「人権」を市民憲章へ反映することはできないか。	「平和」、「人権」に対する概念が多様であるため、幅広い意見を取り入れたうえでの反映が妥当である。
12	環境	市内のあちらこちらで悪臭問題が発生している。居住環境の改善が必要ではないか。	悪臭防止法に基づく対策・対応を取っている、必要に応じて改善指導を実施している。
13	財政	財政難についての具体的な対策を知りたい。	公共施設の統合・廃止を検討するほか、施設使用料の見直し、広告掲載による歳入確保など随時取り組んでいる。
14	公共交通	協働バスのような小回りの利く小型バスを導入してほしい。	公共交通を使いたい人が自らアプリで予約し、他の予約情報を鑑み AI が分析、最適なルートで走る小型バス（タクシー）の運用を研究している。
15	環境	PFAS（ペルフルオロオクタン酸）について市内で検査が実施されているか。	水道水の購入先（静岡県大井川広域水道企業団及び静岡県企業局榛南水道）にて検査を実施、検査結果は問題なし。本年も市内の排水路で検査を実施、検査結果に問題なかった。

16	その他	なぜ御前崎市にハローワークがないのか。	ハローワークは国が設置している機関であり、人口規模により基準があるため設置は難しい。1日ハローワークなどで対応してほしい。
17	防災	各地区公民館の避難所としての整備について (一次避難所としての整備、食料や備蓄品など)	物資の調達は各地区の自主防災組織へ補助金を出しており、それを活用して準備してもらっている。